

毎日の保育をもっとHappyに!

2022 **6**



「Pot指導計画」
7月の計画のヒント



ニコニコ
0・1・2歳児
生活 あそび 保護者

Pot プチ特集

夏の健康
トラブル
園での予防策

行事
特集

願いよ、天まで届け!

七夕飾り



季節のシアター



「流れ星ちゃんとひとでくん」

大特集

“気になる子”とともに
輝くクラスづくり

5歳児 7月の計画

前月末の子どもの姿

- 室内で過ごす時間が長くなることもあったが、活動に集中していて、穏やかに過ごすことができていた。
- 自由に画用紙を切ったり貼ったりして製作活動を楽しんだり、集中して折り紙を折ったりする姿が見られた。

ねらい

- 夏の自然や身近な動植物に興味や関心をもつ。
- 全身を使って、夏の遊び（プール、泥んこ、色水）を十分に楽しむ。
- 自分でできることは自分から進んでやろうとする。

行事

- ★個人懇談会
- ★七夕の集い
- ★お泊まり保育
- ★身体測定
- ★なかよし保育
(地域の人や小学生と園児で交流活動)
- ★避難訓練
- ★誕生会
- ★資源回収

経験する内容

- 自分から進んで水分補給をしたり、汗を拭いて清潔にしたりして、健康的に過ごそうとする。
- 体調の変化に気づき、保育者や友達に知らせようとする。
- プールなどの活動を通して、目標をもって取り組むことを楽しみ、達成感を味わう。
- 保育者や友達と生活をともにし、信頼関係を深めながら、自分でできることは自分でやろうとする。
- 同年齢以外のひととの関わりを楽しむ。
- 野菜の皮むきをしたり、グループで野菜を育てたりして、身近な野菜との関わりを楽しむ。
- 夏の生き物や植物の成長に興味をもつ。
- 自分なりの言葉で相手に思いを伝えながら、相手の思いも知り、話し合ってみようとする。
- 友達といっしょに、踊ったりうたったりすることを楽しむ。
- さまざまな素材や用具を使って、自由に表現することを楽しむ。
- さまざまな日本文化に触れ、経験することで親しみの気持ちをもつ。



環境構成のポイント

- 熱中症などに関連する掲示物を貼り、関心をもてるようにする。
- 活動を自主的に進められるように、持ち物の置き場所、準備をする場所などの確認をする。
- お泊まり保育を安全に行えるよう、担任以外の職員と連携を徹底する。
- 観察したり触れたりしやすいように、身近な場所にコーナーを設ける。
- 夏野菜の世話や観察をする当番が収穫し、収穫した物を展示するコーナーを作る。
- プール活動などに向けて、自分で書いた目標カードを見やすく掲示する。
- それぞれの素材の特徴やその特徴を生かすにはどれを使うとよいかなどを伝えようとして進めていき、材料は十分に用意する。
- 担任以外の保育者や職員と交流が楽しめるよう、個々の子どもの状況などの連携を取り合う。



ねらいに即した活動予定

- プール遊び
(顔つけ、クラゲ浮き、蹴伸びなど)
- 色水遊び、泥だんご作りなど
- Tシャツ作り (スタンピング)
- お泊まり保育
(キャンプファイヤー、朝の散歩など)
- クッキング
- なかよし保育
- 野菜の世話 (当番活動)
- 小動物や虫の観察
- 園外保育 (視聴覚センター)
- 七夕の集い (縦割り活動)
 - ・ささ飾り
 - ・フォークダンス
「たなばたさま」[赤青黄色]
 - ・歌
「たなばたまつり」[ほたるこい]
「はなび」[水あそび]
- 絵を描く
「お泊まり保育の思い出」[魚]
- 日本文化活動 (剣道、日舞)

援助および配慮のポイント

- 熱中症を防ぐために水分をとったり、汗を拭いて清潔な体を保ったりする大切さを知らせ、一人ひとりの様子に注意を払う。
- 登園時の表情や様子をよく見て体調を把握し、保育者どうしで連携を密にして、異状を感じたら早期に対応できるようにする。
- お泊まり保育について、事前にどのような流れで過ごすのかを知らせ、期待の気持ちをもって参加できるようにする。
- 自分のことは自分でやってみようという気持ちを育むとともに、苦手なことにも挑戦できるように励まし、自信につなげていく。
- 楽しんですることで相手も楽しい気持ちになることを伝え、仲立ちをしながら年下の子と関わりがもてるようにする。
- 夏の生き物を図鑑で知らせ、読むことで興味をもてるようにする。また、給食に出ている野菜を話題に出し、興味をもって食べられるようにする。
- 思いを伝えること、相手の思いを聞くこと、相手が間違っても優しく伝えることを伝え、話し合ったあとに気持ちよく過ごせるようにする。
- クラスの目標と個人の目標を作って全体で盛り上げ、目標に向かって取り組む楽しさが味わえるようにする。
- 季節感や興味のある物に関する歌を、意欲的にうたえるようにする。年下の子の前で自信をもってうたえるように、朝の会や帰りの会で親しむ。
- その子らしさを大切に、自分で選択して作っていけるようにする。失敗したときに別の提案をすることで、さまざまなやり方があることを知らせ、楽しく進めていけるようにする。子どもの話し合いを大切に見守っていく。

5から6歳児
※1

のびのび
タイム
※2

- 自分の好きな遊びを、友達と思いきり楽しむ。
- 着替えたり水分補給をしたりして、自分で気持ちよく過ごせるように工夫する。
- 遊びやおやつを通して、周りのひととの触れ合いを楽しむ。

- 担任どうしで連携を密にして、一人ひとりの体調の変化をていねいに見る。
- クラスごとの午前中の活動とのバランスを図る。



- 給食やおやつあとの活発な遊びは避け、ゆったりしながら絵本や動画などを楽しめるようにする。
- 一人ひとりのお迎えの時間に合わせて、自分で見通しを立てて生活できるように、おおよその時間の流れについて知らせておく。



※1 いきいきタイム…1号認定児と2号認定児がいきいきと過ごす時間
※2 のびのびタイム…延長保育の1号認定児と2号認定児がのびのびと過ごす時間

養護

- 暑さから体力を消耗しやすいので、十分な休息、午睡の時間をとり、体を休めるようにする。
- 夏特有の病気の早期発見に努め、適切な対応を行う。
- 相手に話さないと伝わらないことを話し、自分から話そうという気持ちを引き出す。

食育

- 栽培を通して、食べることを楽しみにする。
- お泊まり保育のカレー作り
 - ・包丁などの道具の使い方を知る。
 - ・話し合いや分担を通して、できあがりを楽しむ。
- ポテトサラダ作り
 - ・量や味つけの調節を楽しむ。
- 青空ランチ
(おにぎり作り&弁当箱に盛りつけ)

家庭との連携

- お泊まり保育を楽しみにできるような伝え、必要な物を知らせたり見やすい場所に並べたりする。
【お泊まり保育について】
- 皮膚の感染症 (しらみや水いぼなど) が流行する時期なので、早期発見のうえ、感染拡大を防ぐ。 【保健だより】

小学校との接続

- 自分の体調の変化に気づき、それを保育者や友達に伝えようとする。
- 視聴覚センターを見学し、星空や自然物を観たり、身近にある物のしくみなどに興味をもったりする。
- 夏休みの児童クラブ生と関わりをもち、年上の子の様子から刺激を受ける。

子どもの育ちと自己評価・保育改善のポイント

子どもの育ち

- お泊まり保育を経験したことで、一人ひとりが自信をもつとともに、周りにつながり合う気持ちの高まりが見られたか。

自己評価・保育改善のポイント

- 決まりを守る必要性がわかり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけられるような場面を大切にして、様子に応じて子どもたちが考え合える環境を作れたか。

0歳児
1歳児
2歳児
3歳児
3歳児
3歳児
4歳児
4歳児
4歳児
5歳児
5歳児